

平成26年度 事業計画

I 事業活動方針

本県観光等を取り巻く環境は、観光入り込み客数がほぼ口蹄疫以前の水準に回復するとともに、スポーツキャンプ・合宿が過去最高を記録し、またコンベンション開催も増加傾向を示すなど、一時期の大変厳しい状況からは、徐々にではあるが好転しつつあると言えます。

これは、国全体の景気回復の影響もありますが、これまでの口蹄疫からの復興のための様々な取り組みや、記紀編さん1300年記念事業の展開等、さらには、「全国和牛能力共進会」での宮崎牛連続日本一等による本県知名度の向上など、様々な要因によるものと考えられます。

このような最近の回復基調を確固たるものとし、将来にわたってさらなる本県の観光振興が図られるよう、官民一体となって本県ならではの魅力や強みに磨きをかけ、県民一人ひとりが「おもてなし」の心をもって取り組んでいく必要があります。

こうした中、観光の振興については、県、市町村、関係機関等と更に連携を深め、各種メディアの積極的な活用、観光イベントなどの展開等により、積極的な観光PRに努めてまいりますとともに、エージェント等とのタイアップによる効果的な誘客対策に努めてまいります。

国内からの観光客誘致については、引き続き記紀編さん1300年記念事業としてのキャンペーンの実施や宮崎恋旅プロジェクトの推進に努めるとともに、東九州自動車道の整備を踏まえ北部九州、大分県、四国に向けてのPRなどに力を入れます。

特に、長年の県民の悲願であった東九州自動車道は、本年3月に宮崎～延岡間が開通します。

当協会では、今後の東九州自動車道の開通を本県誘客に大きな弾みを付けるツールと捉え、本県観光振興のために利活用することが肝要であることから、機を逸することなくその取り組みを県内市町村や広域観光推進協議会を構成する大分県とも連携して推進します。

国外からの観光客誘致については、国際定期便のある韓国、台湾に加え中国、香港を重点地域として誘致活動を進めますが、東南アジアの国々についても関係機関と連携して積極的にPRを行っていきます。

コンベンションの推進については、その開催による地域への経済波及効果が大きいことから、他の自治体でMICE施設の建設等が検討されるなど、地域間競争が激化しております。このため、本県の平成26年度重点施策の一つとしてMICEが位置付けられたこととあわせ、MICE誘致戦略の策定や推進体制の強化等を行い、積極的な誘致活動に取り組み、国際会議や全国規模の各種大会、企業ミーティング及びインセンティブツアー等の誘致を図ります。

(注)「MICE」とは、会議(Meeting)、企業等の報奨・研修旅行(Incentive Tour)、学会・国際会議等(Convention)、展示会等(Exhibition/Event)をいう。

スポーツランドみやざきの推進については、大きな経済効果をもたらすプロ野球やJリーグのキャンプについて受入市町村等と連携し誘致・受入等に取り組むとともに、社会人や大学生等の合宿についても、関係機関と一体となって、合宿の全県化、多種目化、通年化を目指します。さらに、2020年東京五輪開催を受け、競技団体等と連携し、日本代表、オリンピック強化競技のキャンプ等の誘致に取り組めます。

II 事業別取組

1 公益目的事業 1

(1) 観光の推進について

① 国内対策

ア) 平成25年度にスタートした「神話のふるさと みやざきキャンペーン」では、引き続きキャリア・エージェントと連携しながら、新たな観光資源、神話やスピリチュアル、豊かな食材等、様々な観光資源を活かした誘客活動を展開していきます。

また、記紀編さん1300年記念事業では、これまでのWEB上のPRに加え、イベント等の取り組みを展開して行きます。

イ) テレビ、新聞、旅行雑誌、タウン誌等のメディア及びインターネットを駆使して観光PRを展開するとともに、県の県外事務所と連携して都市圏での観光PRを推進します。

特に、平成26年度は大都市圏で東九州自動車道開通と記紀編さん1300年記念事業の重点的なPRに努めます。

ウ) 東九州自動車道については、大分県や北部九州さらには四国、中国地方からの観光誘客が図られることが期待されます。

一方で、高速化により本県の観光地が通過点になる恐れも十分考えられるため、市町村とも連携して誘客のターゲットとなる地域への観光キャンペーンの実施や、マスコミ・エージェントに対する情報発信などの観光誘致施策を積極的に進めていきます。

また、東九州自動車道は、単に自動車による入り込み客の増大に限らず、バスを活用しての教育旅行での誘客、カーフェリーやレンタカーの利活用の増加など、多様な方法による幅広い誘客が期待されるため、これらのニーズに的確に対応していくとともに、宮崎カーフェリーの神戸港移転に伴うメリットが最大限活かされるよう取り組みます。

エ) 宮崎の神話にまつわる縁結びスポットを巡る「宮崎恋旅プロジェクト」は、平成26年度も引き続きPRに努めるとともに、記紀編さん1300年事業とも連動して具体的な誘客に繋がるよう努めていきます。

オ) 教育旅行については、市町村、民間団体との連携のもと、本県の地域資源を活かしながら、学校教育で求められている自然・環境・文化などの体験要素に対応した体験メニューを充実させ、また、実際に体験していただくことが本県の受入体制の理解につながることから、国内外を問わずエージェントや学校関係者に対するセールス、招聘等を実施します。

また、東九州自動車道全線開通を見据え、四国を含めた関西以西への積極的な誘致に努めていきますとともに、農家民泊についてもPRに努めます。

カ) 九州新幹線の活用については、高速バス「B&Sみやざき」の活用をはじめ、隣県や各交通機関、旅行会社と連携して関西、中国地方等での観光PR等に取り組み、誘客促進を図ります。

キ) 口蹄疫等の災害で打撃を受けた観光関連産業の復興を支援するため、引き続き市町村が実施する誘客対策の取り組みを支援するとともに、エージェント等とタイアップした誘客キャンペーンを実施します。

また、平成25年度に初めて取り組んだ「食」を切り口としたキャンペーン（「宮崎牛すきやき普及事業」、「農家民泊推進」）や「県民限定100万泊運動」の推進に資する取り組みを展開します。

② 国外対策

- ア) 韓国対策：平成25年2月には韓国で人気のある「済州オルレ」の日本版「九州オルレ」において「高千穂コース」が選定されましたが、今後、ほかの九州オルレコースや観光地と連動して誘致を行うことで、誘客にも弾みがつくものと期待しています。

平成26年度は、定期便を活用し引き続きゴルフ、トレッキングに加え、オルレ、マリンスポーツ、フィッシングなど新たな観光メニューを充実させ、年間を通した観光客の安定的な確保を図ります。

(注)「オルレ」とは、韓国済州島の言葉で「通りから家の門に通じる狭い路地」という意味。現在では済州島の魅力を再発見するために提案しているウォーキングコースの名称として韓国内で広く知られ、人気を集めている。

- イ) 台湾対策：現在週2便の中華航空宮崎ー台北線が、平成26年3月からサマーダイヤとして週3便就航することにより、現在週4便の鹿児島便と合わせ南九州のデイリー化が図られることとなります。

週7便体制となることで相互利用の利便性が向上したことを受け、引き続き鹿児島県と連携した広域周遊コースを旅行会社等にセールスしていきます。

また、ゴルフツアーやインセンティブツアー、教育旅行につながるキーパーソンの招聘や台湾における宮崎県の認知度アップのための観光PR等を実施します。

- ウ) 中国対策：中国から本県へは、大連、北京を中心にゴルフを中心としたツアー再開の動きが出てきています。引き続き情勢を見ながら、ゴルフツアーなど、富裕層を中心とした誘致活動を行っていきます。

また、大型クルーズ船につきましても本県への寄港に積極的に取り組んでいきます。

- エ) 香港対策：韓国、台湾に次いで観光客の多い地域であり、引き続き旅行会社に対しての情報発信、セールス活動を行います。

平成26年4月から鹿児島・香港定期便が週2便就航するため、南九州一体として本県への誘客に努めます。

また、平成25年度に設置された宮崎県香港事務所と連携し、観光・物産展の開催や、誘致セールスを行い誘客増を図ります。

- オ) 東南アジア地域対策：本県への誘客が見込まれるシンガポール、タイについて九州観光推進機構や九州運輸局、九州各県等と連携して商談会等を活用しての観光PR等に努めます。

③ その他

当協会のホームページ「旬ナビ」については、従来のパソコン版、携帯版に加え、新たに本年2月からスマートフォン版の運用を開始したところですが、更なる利便性の向上を図るため、旬な観光情報や季節毎の特集ページ等、より一層の内容充実を努めるとともに、県と連携して更に「見やすく、使いやすい」ページの構築に努めます。

(2) コンベンションの推進について

① MICEの誘致

- ア) 東京、福岡などの大都市圏では、学会及び各種団体の本部事務局等に対し、県の県外事務所等と連携しながら誘致セールスを行います。さらに、インセンティブツアー等についても、誘致活動を積極的に展開します。
- イ) 行政やMICE関係者で推進体制の強化を図り、合同誘致セールス等や各種団体・学会の県内支部事務局に対する宮崎開催の働きかけ等に取り組みます。
- ウ) 国内で毎年安定的に開催されている学術会議を対象として、前年度に引き続き、東京と福岡で「学術会議等誘致懇談会」を開催します。また、宮崎開催の主管事務局となる宮崎支部においても、学会の情報交換、助言及び支援を積極的に行うなど、学術会議等の誘致を図ります。
- エ) 海外定期航空路線が就航している韓国及び台湾については、日本政府観光局主催の商談会への参加、エージェントへのセールス等のほか、特別開催支援補助金の創設等を行うなど、積極的なMICEの誘致活動に取り組みます。
- オ) MICEの経済的効果や社会的効果等について啓発を図るセミナー等を行います。

② MICEの支援

- ア) 本県に大きな経済効果をもたらすMICEに対しては、開催支援補助金の効率的な運用のほか、主催者への情報提供やアドバイス、連絡調整、空港での出迎え、歓迎看板・郷土芸能・交通アクセスの支援など、おもてなし日本一にふさわしい、きめ細かな支援サービスを実施していきます。
- イ) 国際会議及び国際インセンティブツアーの受け入れにおいては、関係機関と連携し、安全かつ快適に宮崎入りをしていただけるよう支援体制の整備を図ります。

(3) スポーツランドみやざきの推進について

① スポーツイベント等開催促進

ダンロップフェニックストーナメントなど県内で開催される3つのゴルフ公式戦、女子野球ワールドカップ、プロ野球秋季教育リーグ「みやざきフェニックス・リーグ」、東アジアリトルシニア野球大会等の、県内外から多くの来場者が見込まれる各種スポーツ大会の開催支援を行います。

② スポーツランドみやざき誘致促進

- ア) 実業団、合宿取扱エージェントなどの的を絞ったきめ細かなPR・セールスを実施するとともに、キーパーソンの招聘を行い、トップアスリートやチーム等の誘致を図ります。
- イ) 関西及び福岡地区において、大学・高校等の競技団体や同好会等を対象にした「合宿セミナー」を開催し、宮崎での合宿実績のあるチームの定着並びに新規チームの誘致に取り組みます。
- ウ) 東九州自動車道開通により、移動時間の短縮等の効果が期待される大分や四国の実業団や大学・高校等へPR・セールスを実施し、新規合宿の誘致に取り組みます。
- エ) 当協会及び県内市町村の合宿支援制度等を活用して、キャンプ・合宿の通年化・多種目化・全県化を図ります。
- オ) キャンプ中のチームに対する県産品の贈呈や、プロスポーツを受け入れている市町等が行う歓迎や観客サービスを支援し、キャンプの盛り上げを図ります。

か) プロスポーツキャンプ等への県外観光客誘致を促進するため、ポスターやガイドマップの作成・配布による広報等を行います。さらに東九州自動車道開通による誘客が見込まれる大分や四国等へのPR活動を展開します。

③ 波旅プロジェクト推進事業

サーフィンをはじめとする様々なマリンスポーツによる観光客誘致を図るため、「波旅宮崎」のPRを行うとともに、受入体制の整備支援に取り組みます。

④ 宮崎球援プロジェクト事業

日本プロ野球選手会と連携し、野球ファンが集うイベント等を実施し、県内外からの誘客を図ります。

2 公益目的事業2

観光みやざき振興基金事業について

本県観光振興に資する取り組みを支援し、観光みやざきのより一層の推進を図ります。

スポーツをはじめとする各種大会や、実現すれば県内に大きな経済効果や観光振興の効果が見込まれるもので、前もって開催が予測しがたい事業、県または市町村の観光振興施策の方針に沿ったもので、その事業効果が県または地域全体の観光振興に寄与すると認められる新たな事業等の実施を支援します。

Ⅲ 事業項目

1 公益目的事業 1

(1) 「神話のふるさと みやざき」誘客促進事業 [観光推進局]
34,358千円

- ①神話のふるさと みやざきキャンペーン事業
- ②キャリア・エージェント対策事業
- ③情報発信・知名度向上対策事業

(2) 東アジア等観光誘客推進事業 [観光推進局]
35,248千円

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①韓国対策事業 ②台湾対策事業 ③中国対策事業 ④香港対策事業 ⑤東南アジア地域
誘客対策事業 ⑥Wi-Fi
設置支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ◇旅行商品企画造成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（商談会含む） ・エージェント招聘事業 ・エージェント等広告支援事業 ◇知名度向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌・テレビ関係者招聘事業 ・マスメディア活用PR事業 ◇ウェルカム宮崎キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・定期便活用送客支援 ・ゴルフ大会支援 ◇Wi-Fi環境整備を行うホテル・旅館等を支援 |
|--|--|

(3) 宮崎恋旅プロジェクト推進事業 [観光推進局]
10,538千円

- ①宮崎恋旅PR事業
- ②宮崎恋旅プロジェクト推進事業

(4) 東九州自動車道を活用した観光誘客促進事業 [観光推進局]
10,000千円

- ①大分県との共同PR・エージェント招聘・キャンペーン実施
- ②大分県からの誘客PR・エージェント招聘・キャンペーン実施

(5) 口蹄疫復興財団誘客対策分野事業 [観光推進局、コンベンション・スポーツランド推進局]
94,000千円

- | | |
|---------------|----------|
| ①教育旅行推進事業 | 5,000千円 |
| ②記紀編さん1300年事業 | 31,000千円 |
| ③海外誘客対策事業 | 20,000千円 |
| ④コンベンション等支援事業 | 15,000千円 |

⑤スポーツランドみやざき推進事業	13,000千円
⑥「食」の観光推進事業	10,000千円
(6) MICE誘致推進事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]	34,393千円
<ul style="list-style-type: none"> ①MICE主催事務局、地元関係団体、企業への個別訪問セールス及び関係機関との合同セールス ②海外企業インセンティブの誘致（主催企業その他旅行業者） ③MICE等誘致推進説明会の開催（学術、各種団体） <ul style="list-style-type: none"> ・学術会議等誘致推進懇談会（東京、福岡） ④国内外のMICE等のキーパーソン招聘 ⑤MICE商談会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・国際ミーティング・エキスポ：東京 ・ソウルインセンティブマート：ソウル、台湾 その他、国内外で開催されるコンベンション見本市・商談会 ⑥MICE関係団体等との情報交換 ⑦セミナー等の開催 ⑧誘致体制基盤強化 	
(7) MICE開催支援事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]	74,746千円
<ul style="list-style-type: none"> ①MICE開催支援補助金の交付 ②歓迎看板、郷土芸能、交通アクセス等の支援 ③観光パンフレット、飲食店マップ等の提供 ④MICE関連施設・業者の紹介及び情報提供 ⑤MICE開催やアフターコンベンションに関する相談、アドバイス ⑥その他、MICE主催者のニーズに応じた各種サービスの提供 	
(8) MICE関連広報・宣伝事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]	2,449千円
<ul style="list-style-type: none"> ①インターネットによるMICE情報の発信 ②各種PRパンフレット等の作成 ③新聞・雑誌等によるPR 	
(9) MICE関連調査・企画・開発事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]	996千円
<ul style="list-style-type: none"> ①MICE開催情報の収集 ②MICE団体会議及び研修会への参加 	
(10) スポーツランドみやざき推進事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]	39,849千円

	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツイベント開催育成支援補助金の交付、ゴルフ公式戦支援等 ②プロ野球 秋季教育リーグ開催支援 ③スポーツ団体、エージェント等への誘致セールス、キーパーソン招聘 ④プロキャンプ、アマチュアチームキャンプの支援 ⑤プロスポーツキャンプ観客増への取り組み ⑥全国大会・西日本大会等の各種スポーツ大会の誘致 ⑦波旅プロジェクトの推進
<p>2 公益目的事業2（観光みやざき振興基金事業）</p>	<p style="text-align: right;">8, 4 2 9 千円</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツイベント等開催支援事業 ②観光チャレンジ応援事業